

教育普及に関わる活動報告 Report on Education Programs

常設展や美術館の建物を活用した通常のプログラムは例年どおり実施し、多くの来館者に楽しんでもらうことができた。

今年度の特徴として挙げられるのは、ふたつの企画展「ジャック・カロ展」と「指輪展」をそれぞれ「どようびじゅつ」と「ファン・ウィズ・コレクション」で取り上げたことである。通常、他館の作品で構成される企画展をこうしたプログラムで取り上げることはしない。しかし、これらは当館のコレクションによる企画展だったためプログラムのテーマとして取り上げ、家族や多くの来館者に企画展を楽しむ機会を提供することができた。

また、これらの企画展では、来館者の鑑賞を補助する大日本印刷株式会社が開発したシステムを導入した。「ジャック・カロ展」では微細な版画作品を拡大して鑑賞できるタッチ・パネル『見どころルーペ』を、「指輪展」では各セクションの展示テーマや主要な指輪作品を見ることができるガイダンス・パネルを設置して来館者の活用供した。大日本印刷と協力してふたつのシステムの利用者調査を実施し、鑑賞教材としての有効性を確認することができた。

また、今年度は、ボランティア・スタッフが独自に企画・実施する新たな「立ち寄りプログラム」を「指輪展」と『美術館でクリスマス』のふたつで試行的に行なった。短時間でできるように工夫された簡単な創作プログラムは、たいへん好評で多くの来館者が参加した。美術館が企画したプログラムへの協力だけでなく、まさにボランティア活動によって、スタッフ同士のコミュニケーションも活性化され、さらに活動への意欲が増進される取組みとなった。

1) 常設展関連プログラム

当館の所蔵作品および常設展示に関連して実施されるプログラム。

■美術トーク

所蔵作品5-7点を鑑賞していく、ボランティア・スタッフによる一般向けギャラリートーク。開館している第1・3・5土曜日と日曜日に実施。

参加者：計840名(59回)

■建築ツアー

ル・コルビュジエ設計の本館や前庭を巡る、ボランティア・スタッフによる一般向け建築ツアー。開館している第2・4土曜日に実施(当日予約制)。

参加者：計301名(18回) *団体向けツアーは除く

■平日大人向けトーク *団体向け建築ツアーはこちらに加算

参加者：計401名(16回)

■美術館でクリスマス

「ギャラリートーク」

常設展の見どころや、主な作品についてボランティア・スタッフが行なうトーク。

12月13日(土)/14日(日) ①12:00-12:10 ②13:00-13:10

③14:00-14:10

参加者：計169名

「クリスマスキャロル・コンサート」

クリスマスにちなんだ歌を特集したアカベラのコンサート。

12月13日(土)/14日(日) ①11:00-11:40 ②15:00-15:40

企画：平松英子(東京芸術大学准教授)

演奏：金持亜実(ソプラノ・13日)、原千裕(ソプラノ・14日)、平山莉奈(アルト)、宮下大器(テノール)、関口直仁(バス)

参加者：計435名

「セイビ・パズル」(クリスマス・バージョン)

常設作品を使ったパズルで遊ぶ予約不要のプログラム。

12月13日(土)/14日(日) 10:00-16:00

参加者：計194名

「作って飾ろうクリスマス」(立ち寄り制ワークショップ)

ボランティア・スタッフが企画したオーナメント作りワークショップ。

12月13日(土)/14日(日) 10:00-16:00

参加者：計404名

■ファン・デー 2014

さまざまなプログラムとともに国立西洋美術館を無料開放し、コレクションに親んでもらう週末プログラム。

9月27日(土)/28日(日) 9:30-17:30

[常設展関連]

「ギャラリートーク『コレクション、この1点』」

9月27日(土)

10:00-10:10 《「聖ステパノ伝」を表わした祭壇画ブレデッラ》

11:00-11:10 《最後の晩餐》

12:00-12:10 《ヘラクレスとオンファレ》

13:00-13:10 《ジギタリス》

14:00-14:10 《私は美しい(彫刻)》

15:00-15:10 《ホワイト・ペインティング》

9月28日(日)

10:00-10:10 《「聖ステパノ伝」を表わした祭壇画ブレデッラ》

11:00-11:10 《ダナエ》

12:00-12:10 《グイド・カヴァルカンティの亡霊に出会うテオドーレ》

13:00-13:10 《ポントワーズの橋と堰》

14:00-14:10 《睡蓮》

15:00-15:10 《海辺に立つブルターニュの少女たち》

参加者：計364名

「ミュージアム缶バッジを手に入れよう！」

9:30-17:00

参加者：計2,600名

「びじゅつーる ロダン・セット、モネ・セット」

9:30-16:00(貸出は15:00まで)

利用者：計578名

「セイビ・パズル」

9:30-17:00

参加者：計407名

「常設展パンフレット」

9:30-17:30

配布数：2,699



「本館立体パズル」

9:30-17:00

参加者：計201名

「本館建築ツアー」(各回約50分、定員先着20名)

①11:30- ②14:30-

参加者：計80名

「ホドラー展パンフレットもらえます!」

9:30-17:30

配布数：894

「前庭コンサート」

①10:30-11:00 ②14:30-15:00

参加者：計674名

入館者数合計(2日間)：4,369名

2) 特別展関連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

■講演会

[カロ展]

4月26日(土) 14:00-15:30

「カロ作品に映された17世紀前半のヨーロッパ」

中田明日佳(国立西洋美術館研究員)

参加者：47名

5月31日(土) 14:00-15:30

「バロック美術のなかのジャック・カロ」

栗田秀法(名古屋大学大学院教授)

参加者：72名

[非日常からの呼び声展]

5月24日(土) 14:00-15:30

「非日常からの呼び声」

平野啓一郎(作家)

参加者：148名

[橋本コレクション 指輪展]

7月26日(土) 14:00-15:30

「装飾が“罪”ではなかった時代」

天野知香(お茶の水女子大学教授)

参加者：57名

9月6日(土) 14:00-15:30

「ファッション史のなかのジュエリー」

能澤慧子(東京家政大学教授)

参加者：83名

[ホドラー展]

10月19日(日) 14:00-15:30

「フェルディナント・ホドラーの象徴主義的傑作」

オスカー・ベツェルマン(ベルン美術館館長) *同時通訳つき(ドイツ語)

参加者：68名

10月26日(日) 14:00-15:30

「フェルディナント・ホドラー 世紀末の曙光」

水沢 勉(神奈川県立美術館館長)

参加者：54名

11月15日(土) 14:00-15:30

「絵画と踊る身体 — 表現主義から抽象へ」

田中正之(武蔵野美術大学教授/美術館・図書館館長)

参加者：77名

11月29日(土) 14:00-15:30

「からだを動かすもの — リズムと社会」

伊藤亜沙(東京工業大学リベラルアーツセンター准教授)

参加者：49名

12月7日(土) 14:00-15:30

「リズムの震源地 — ホドラーの芸術思想とその余波」

新藤 淳(国立西洋美術館研究員)

参加者：79名

[グエルチーノ展]

3月14日(土) 14:00-15:30

「ボローニャ派とグエルチーノ」

高橋健一(和歌山大学准教授)

参加者：118名

■シンポジウム

[科学研究費基盤研究B「美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育プログラムの開発」関連]

9月21日(土) 14:00-16:30

「コレクションと鑑賞教育(1) オーストラリアの美術館教育の現場から」(同時通訳つき)

ゲーナ・パネビアンコ(ヴィクトリア国立美術館教育部部長)

一條彰子(東京国立近代美術館主任研究員)

岡田京子(国立政策研究所・教科調査官)

奥村高明(聖徳大学教授)
寺島洋子(国立西洋美術館主任研究員)
参加者:107名

2015年1月10日(土) 14:00-17:00
「コレクションと鑑賞教育(3) 美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育の展開」(同時通訳つき)
シャロン・バツスキー(グッゲンハイム美術館学校・家族プログラム部長)
一條彰子(東京国立近代美術館主任研究員)
今井陽子(東京国立近代美術館主任研究員)
岡田京子(国立政策研究所・教科調査官)
奥村高明(聖徳大学教授)
寺島洋子(国立西洋美術館主任研究員)
藤田千織(東京国立博物館主任研究員)
参加者:130名

■スライドトーク・ギャラリートーク

[カコ展]
スライドトーク:中田明日佳(国立西洋美術館研究員)
4月11日(金)/25日(金)、5月16日(金)/30日(金)
各日18:00-18:30
参加者:計129名

[橋本コレクション 指輪展]
スライドトーク:飯塚隆(国立西洋美術館研究員)
7月18日(金)、8月8日(金)、9月5日(金) 各日18:00-18:30
参加者:計244名

[ホドラー展]
ギャラリートーク:沖 澄弘(東京藝術大学大学院博士後期課程)
10月17日(金)、11月7日(金)/28日(金)、12月12日(金)
各日18:00-18:30
参加者:計205名

[グエルチーノ展]
スライドトーク:中江花菜(東京藝術大学大学院)
2015年3月13日(金)/27日(金) 各日18:00-18:30
参加者:111名

■レクチャーコンサート

カコ展レクチャーコンサート「ハープによる奇想の劇場」
カコ作品の奇想やグロテスクな要素をそれぞれの曲で表現しながら、カコの連作のように、全体でひとつの物語を生み出すコンサート。

日時:5月22日(木) 18:00-20:00
場所:企画展示ロビー
企画・トーク:瀧井敬子
ハープ演奏:景山梨乃
作曲:徳山美奈子
照明デザイン:飯田幸司
参加費:1,500円
参加者:100名

■障がい者のためのプログラム

展示会の作品について、15分程度の概要説明のレクチャーを講堂で行った後、参加者が自由鑑賞するプログラム。

「ホドラー展特別鑑賞会」
11月22日(土) 18:00-20:00
共同実施:三菱商事株式会社(三菱社員ボランティア21名)
参加者:85名

■ファン・ウィズ・コレクション2014

「リング・リングー 祈る、誓う、飾る、楽しむ指輪」
*「橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで一時を超える輝き」に関連した企画

[講演会]
*特別展関連プログラムの講演会参照

[映画とトーク]
7月27日(日) 前編13:00-14:40 後編15:00-16:30
『ニーベルングの指輪』、ウーリー・エデル監督、2004年(DVD 上映)
トーク:飯塚隆(国立西洋美術館研究員)
*協力=日活株式会社
参加者:40名

[創作・体験プログラム]
7月19日(土) 13:00-17:00
「指輪 その輝きに隠された技術」
井村裕司(ヒコ・みづのジュエリーカレッジ講師・日本ジュエリーデザイナー協会理事)
参加者:14名

7月21日(月・祝) ①10:00-12:00 ②14:00-16:00
*2回とも同じ内容
「指輪にまつわる秘密をさぐってなが〜い指輪、つくってみよう!」
阿部祐子・藤田百合(エドゥケーター)
参加者:18名

[立ち寄りプログラム]
8月2日(土)/3日(日)/9日(土)/10日(日)/16日(土)/17日(日)/23日(土)/24日(日) 各日11:00-15:00
「はめて帰ろう! 色いろリング」*ボランティア企画のプログラム
参加者:3,968名

3) ファミリープログラム

6-9歳の子供と同伴の大人を対象にしたファミリープログラムは、常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつーる」の無料貸出と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どうびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

■びじゅつーる

美術館は初めて、あるいは美術のことはよく知らない、という家族を対象に作られた鑑賞用補助教材で、常設展の絵や彫刻を、いろいろな視点から楽しむための道具やゲームなどがセットになっている。
*2014年度は、ファン・デーで貸出を行なった。(ファン・デー参照)

■どうびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった予約制プログラム。

「虫めがねで探してみよう、見よう!」
虫めがねを使ってジャック・カロの緻密な版画を鑑賞した後、ドライブポイントの技法を使って版画を作成した。
4月19日(土)/26日(土)、5月10日(土)/24日(土)
各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00
参加者:計114名

「ベタベタ・色いろ・タマテバコ」
常設展示室の作品を3点鑑賞した後、マスキングテープやシールを細かくちぎり、点描のようにして貼って、大切なものを入れる箱を飾った。
9月13日(土)、10月11日(土)/25日(土)、11月8日(土)/22日(土)
各日①10:00-12:00 ②14:00-16:00
参加者:計145名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

参加者：計2,571名(78件)

未就学児童=24名(1件)、小学生=1,354名(33件)、中学生=800名(29件)、高校生以上=393名(15件)

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説。教育普及室が実施。

参加者：計1,587名(23件)

幼稚園=0名(0件)小学生=120名(1件)、中学生=626名(4件)、高校生以上=841名(18件)

■職場訪問

おもに、中学生による美術館の仕事に関する訪問インタビュー。教育普及室で対応。

参加者：計27名(5件)

中学生=27名(5件)

■国立美術館アートカード・セット

独立行政法人国立美術館所蔵作品を使用した鑑賞用教材アートカードの貸し出し。

4件(24セット)

小学校=3件(19セット)、高校=1件(5セット)

■先生のための鑑賞プログラム

特別展ごとに小・中学校、高校の教員を対象に、指定時間中の無料観覧を行なうと同時に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が講堂で約40分間のレクチャーを行なう。

[カロ展]

4月18日(土) 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：中田明日佳(国立西洋美術館研究員)

参加者：15名(うちレクチャー参加者6名)

[橋本コレクション 指輪展]

8月1日(金) 展覧会観覧9:30-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：飯塚隆(国立西洋美術館研究員)

参加者：63名(うちレクチャー参加28名)

*国立科学博物館「教員のための博物館の日」との連携事業

[ホドラー展]

10月31日(金) 展覧会観覧16:00-20:00 レクチャー 18:00-18:40

講師：新藤 淳(国立西洋美術館研究員)

参加者：38名(うちレクチャー参加18名)

■教員研修

東京都図画工作研究会・東京国立近代美術館・東京都現代美術館・国立西洋美術館合同教員研修会。

学校と美術館の連携を推進することを目的として、美術館での鑑賞と学校での表現の授業を関連させるプログラムを2回企画・実施した。

①国立西洋美術館・世田谷区立駒沢小学校

11月26日(水)、12月2日(火) 13:35-15:00 駒沢小学校授業

12月5日(金) 13:30-14:45 国立西洋美術館鑑賞活動(公開授業)

②東京都現代美術館・足立区立栗原小学校

2015年2月16日(月) 13:40-15:15 栗原小学校

2015年2月20日(金) 13:30-15:00 東京都現代美術館鑑賞活動

15:15-16:30 協議会

5) ボランティア

ボランティア・スタッフは、3つのグループに分かれて当館のさまざまなプログラムをサポートしている。2014年度からは、ボランティア・スタッフ自身が企画するプログラムも始まった。さらに、ボランティアは、当館での活動に必要な知識や技術を習得するための研修や、スタッフ同士の交流を図るための会合などにも参加している。

■活動内容

Aグループ：スクール・ギャラリートーク、ファミリープログラム

Bグループ：美術トーク

Cグループ：建築ツアー

全グループ：「ファン・デー」「美術館でクリスマス」「ボランティア・スタッフ自主企画」

■研修と会合

①4月17日(金) 展覧会「指輪展」の概要講義

②12月6日(土) 「ヒコ・みづのジュエリーカレッジ」で粒金技法の講義及びペンダント・ヘッドの制作体験

③3月11日(水) 担当A 研修：富士美術館訪問 ギャラリートーク体験

④3月24日(火) 担当A 研修：スクール・ギャラリートークについて

⑤3月28日(土) 西洋美術史に関する講義、例会

6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

[絵画・彫刻・版画素描室]

インターン：中江花菜

期間：6月5日-10月20日

指導：川瀬佑介

内容：所蔵作品の調査研究および絵画・彫刻室の関連業務の補佐

インターン：原田佳織

期間：5月12日-8月31日

指導：陳岡めぐみ

内容：所蔵作品の調査研究および絵画・彫刻室の関連業務の補佐

インターン：倉地伸枝

期間：5月13日-9月16日

指導：中田明日佳

内容：所蔵作品の調査研究および版画素描室の関連業務の補佐

7) 他組織との連携

■上野高校「奉仕」課外授業への協力

「ファン・デー補助」

9月27日(土)/28日(日)

参加者：生徒4名、教員1名

「美術館でクリスマス補助」

12月13日(土)/14日(日)

参加者：生徒4名、教員1名

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻の教育・研究における連携・協力

期間：2014年4月1日-2015年3月31日

内容：文化資源学専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

8) 出版物

■ 展覧会カタログ (*展覧会の欄参照)

■ 展覧会作品リスト

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト

[指輪展] A4 三つ折り

[ホドラー展] B4 変形 (二つ折り)

[グエルチーノ展] A4

■ ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[指輪展] A5 8頁 (中綴じ)

[ホドラー展] B4 (十字折り)

[グエルチーノ展] A5 8頁 (中綴じ)

■ ゼフェュロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊 (年4回) のニュースレター。

No.59–No.62 A5 (8頁・中綴じ)

(寺島洋子・横山佐紀・杉浦央子)

スタッフ・リスト

[教育普及室] 寺島洋子、横山佐紀、前園茂宏、杉浦央子、平松英子 (客員研究員)

[ボランティア・スタッフ] 赤塚敬子、新井智子、安藤まりえ、石川佐知子、磯田暉子、稲森珠実、井上直子、大堀隆嗣、岡田史穂子、岡田正宇、小川 滋、小竿真紀、榊原たまき、里 広江、澤野曠一、塩田伸一、白田詠子、鈴木由紀、鈴木伊知子、高野涼子、田上恵子、谷口武教、寺嶋直子、長井靖子、中尾小絵、中山裕子、中野恵子、中村宏美、西田通子、橋本典子、畑中たまき、浜田明美、檜谷錦子、平賀恵美、福良恵子、文屋信男、別所恵代、前田直哉、三好美智子、森保裕恵、山本三津江、横畠ミサコ、和田昭子

This year we conducted our normal programs utilizing both the Permanent Collection Galleries and the NMWA buildings, and these were all well received by a large audience.

Of special note this year were the Doyo Bijutsu and Fun With Collection programs held in conjunction with the two special exhibitions, “Jacques Callot” and “The Rings from the Hashimoto collection.” It is not our normal practice to hold these programs for special exhibitions containing works from other collections, however, given that these exhibitions were organized from the NMWA collection, the holding of these programs assisted families and a large number of visitors in their enjoyment of these exhibitions.

We also implemented systems developed by Dai Nippon Printing (DNP) in these special exhibitions to aid the visitor viewing experience. The “Highlight Loupe” touch panel display system was used in the Callot exhibition so that viewers could enlarge images of Callot’s intricately detailed prints. In the Rings exhibition, guidance panels were placed in the lobby so that visitors could access information on the themes of each display section and the major rings on display before they saw the exhibitions. With DNP’s cooperation, we conducted surveys of the users of the two systems and were able to confirm the effectiveness of these viewing aids.

The NMWA volunteer staff also developed and conducted two new types of programs, namely a Drop-in Program for “The Rings” exhibition and the Christmas at the Museum program. These simple creative programs, which could be carried out in a short time period,

were extremely favorably received and welcomed a large number of participants. These programs not only coordinated with the museum’s larger programs, this voluntary program also facilitated greater communication among staff members and heightened everyone’s involvement with the activities.

1) Programs Related to the Permanent Collection

■ Art Talks

Art Talks are designed to help adult visitors enjoy our permanent collection. The volunteer staff conducts Art Talks every Sunday and the first, the third and the fifth Saturday when the museum is open, and they focus on five to seven art works on display.

Total participants: 840 (59 talks)

■ Architectural Tours

This program is designed to help adult visitors enjoy the museum buildings. The volunteer staff conducts Architectural Tours on the second and the fourth Saturday when the museum is open, and they focus on the Main Building and Forecourt Garden, which were designed by the French architect Le Corbusier.

Total participants: 301 (18 tours)

■ Weekday Gallery Talks for Adults

Total Participants: 401 (16 tours)

■ Christmas Programs

“Gallery Talks”

Members of the volunteer staff presented talks on one work in the Permanent Collection Galleries. (*In Japanese)

Saturday 13 and Sunday 14 December, ① 12:00–12:10 ② 13:00–13:10

③ 14:00–14:10

Total participants: 169

“Christmas Carols”

From carols sung in churches during the Christmas season to popular songs, this a cappella concert featured a range of festive songs.

Saturday 13 and Sunday 14 December, ① 11:00–11:40 ② 15:00–15:40

Organizer: Eiko Hiramatsu (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

Musicians: Ami Kanaji (sop.), Chiaki Hara (sop.), Rina Hirayama (alt.), Taiki Miyashita (ten.), and Naohito Sekiguchi (b.)

Total participants: 435

“NMWA Puzzle: Christmas Edition”

A drop-in event where participants completed NMWA collection puzzles from beginner to advanced levels.

Saturday 13 and Sunday 14 December, 10:00–16:00 each day

Total participants: 194

“Let’s Make Christmas Decorations”

A drop-in event planned by museum volunteers where participants could make their own Christmas ornaments.

Saturday 13 and Sunday 14 December, 10:00–16:00 each day

Total participants: 404

■ Fun Day 2014

The NMWA Fun Days are days when the NMWA is open to visitors free-of-charge with programs to allow visitors to familiarize themselves with our collection.

Saturday 27 and Sunday 28 September

9:30–17:30 each day (entrance closes at 17:00)

[Gallery Talk — One Work from the Collection]

Saturday 27 September

10:00–10:10

Predella Panel Representing the Legend of St. Stephen

11:00–11:10

The Last Supper

12:00–12:10 *Hercules and Omphale*
13:00–13:10 *Digitales*
14:00–14:10 *I am Beautiful*
15:00–15:10 *White Painting*

Sunday 28 September

10:00–10:10 *Predella Panel Representing the Legend of St. Stephen*
11:00–11:10 *Danae*
12:00–12:10 *Theodore Meets in the Wood the Spectre of His Ancestor Guido Cavalcanti*
13:00–13:10 *The Bridge and Dam at Pontoise*
14:00–14:10 *Water Lilies*
15:00–15:10 *Two Breton Girls by the Sea*

Total participants: 364

“Let’s Get a Museum Badge!”

9:30–17:00

Total participants: 2,600

“Bijutool Rodin set, Monet set”

9:30–16:00 (lending ended at 15:00)

Total participants: 578

“NMWA Puzzle”

9:30–17:00

Total participants: 407

“Self-Guided Pamphlet for the Permanent Collection Galleries”

9:30–17:30

Number distributed: 2,699

“Main Building 3-D Puzzle”

9:30–17:00

Total participants: 201

“Architectural Tour of the Main Building”

Approximately 50 minutes, limit of 20 visitors per talk.

① Starts at 11:30 ② Starts at 14:30

Total participants: 80

[Let’s Get Hodler Exhibition Pamphlets!]

9:30–17:30

Number distributed: 894

[Concert in the Forecourt]

① 10:30–11:00 ② 14:30–15:00

Total participants: 674

Total number of visitors (two days): 4,369

2) Programs Related to Special Exhibitions Lectures

■ A series of lectures

[Jacques Callot]

Saturday 26 April, 14:00–15:30

“Europe in the First Half of the 17th Century as Revealed in Callot’s Works”

Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Total participants: 47

Saturday 31 May, 14:00–15:30

“Jacques Callot within Baroque Art”

Hidenori Kurita (Professor, Graduate School, Nagoya University)

Total participants: 72

[Voices Calling from the Unusual]

Saturday 24 May, 14:00–15:30

“Voices Calling from the Unusual”

Keiichiro Hirano (Novelist)

Total participants: 148

[The Rings from The Hashimoto Collection]

Saturday 26 July, 14:00–15:30

“When Personal Adornment was not a ‘Sin’”

Chika Amano (Professor, Ochanomizu University, Graduate School of Humanities and Sciences)

Total participants: 57

Saturday 6 September, 14:00–15:30

“Jewelry in the History of Fashion”

Keiko Nozawa (Professor, Tokyo Kasei University)

Total participants: 83

[Ferdinand Hodler]

Sunday 19 October, 14:00–15:30

“Ferdinand Hodler’s Symbolist Masterpieces”

Oskar Bächtelmann (Professor Emeritus, Universität Bern / Professor, Schweizerisches Institut für Kunstwissenschaft)

Total participants: 68 *with simultaneous interpretation

Sunday 26 October, 14:00–15:30

“Ferdinand Hodler: Dawn’s Light in the Fin-de-Siècle”

Tsutomu Mizusawa (Director, Museum of Modern Art, Kamakura and Hayama)

Total participants: 54

Saturday 15 November, 14:00–15:30

“Dancing Bodies and Painting: From Expressionism to Abstraction”

Masayuki Tanaka (Professor, Musashino Art University / Director, Musashino Art University Museum & Library)

Total participants: 77

Saturday 29 November, 14:00–15:30

“That Which Moves the Body: Rhythm and Society”

Asa Ito (Associate Professor, Liberal Arts Center, Tokyo Institute of Technology)

Total participants: 49

Sunday 7 December, 14:00–15:30

“Rhythm’s Epicenter: Hodler’s Art Philosophy and Its Aftermath”

Atsushi Shinfuji (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Total participants: 79

[Guercino]

Saturday 14 March, 14:00–15:30

“The Bologna School and Guercino”

Ken’ichi Takahashi (Associate Professor, Wakayama University)

Total participants: 118

■ Symposia

A symposium series Related to Scientific Research (B) “Development of Art Appreciation Education Program Utilizing Works in Art Museum Collections”

Saturday 21 September, 14:00–16:30

“Collection and Visual Arts Appreciation Education (1) — Art Museum Education in Australia” (with simultaneous interpretation)

Gina Panebianco (Head of Education, National Gallery of Victoria, Melbourne)

Akiko Ichijo (Educator, National Museum of Modern Art, Tokyo)

Kyoko Okada (Senior Curriculum Specialist, Ministry of Education)

Takaaki Okumura (Professor, Seitoku University)

Yoko Terashima (Educator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Total participants: 107

Saturday 10 January 2015, 14:00–17:00

“Collection and Visual Arts Appreciation Education (3) Developing Visual Arts Appreciation Education by Utilizing Objects in an Art Museum’s Collection” (with simultaneous interpretation)

Sharon Vatsky (Director, School and Family Programs, Solomon R.



Guggenheim Museum)

Akiko Ichijo (Educator, National Museum of Modern Art, Tokyo)
 Yoko Imai (Curator, National Museum of Modern Art, Tokyo)
 Kyoko Okada (Senior Curriculum Specialist, Ministry of Education)
 Takaaki Okumura (Professor, Seitoku University)
 Yoko Terashima (Educator, National Museum of Western Art, Tokyo)
 Chiori Fujita (Educator, Tokyo National Museum)
 Total participants: 130

■ Slide Talks & Gallery Talks

[Jacques Callot]

Slide Talks

Friday 11 April, Friday 25 April, Friday 16 May, Friday 30 May
 18:00–18:30 each day

Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 129

[The Rings from The Hashimoto Collection]

Slide Talks

Friday 18 July, Friday 8 August, Friday 5 September
 18:00–18:30 each day

Takashi Iizuka (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 244

[Ferdinand Hodler]

Gallery Talks

Friday 17 October, Friday 7 November, Friday 28 November, Friday 12
 December, 18:00–18:30 each day

Sumihiro Oki (Graduate student, Tokyo University of the Arts)

Participants: 205

[Guercino]

Slide Talks

Friday 13 March, Friday 27 March 2015, 18:00–18:30 each day

Kana Nakae (Graduate School, Tokyo University of the Arts)

Participants: 111

■ Lecture / Concert

[Jacques Callot]

“Theater of Fantasy via the Harp”

This harp concert expressed the fantastical and grotesque elements
 seen in Callot’s works, and just as in his series works, here the various
 individual melodies worked together to create a single narrative.

Dates and times: Thursday May 22, 18:00–20:00 (doors open at 17:30)

Venue: Special Exhibition Wing Lobby (B2F)

Planning and production: Keiko Takii

Performance by: Rino Kageyama (Harpist)

Composer: Minako Tokuyama

Lighting Designer: Koji Iida

Fee: 1,500 yen

Number of participants: 100

■ Program for the Disabled

After a 15-minute general explanation of the works in the exhibition,
 visitors were allowed to freely enjoy the exhibition.

[Ferdinand Hodler]

Saturday 22 November, 18:00–20:00

With Support from: Mitsubishi Corporations, Inc. (with 21 Mitsubishi
 volunteers)

Participants: 85

■ Fun with Collection 2014

“Rings, Rings — Rings for Prayers, Vows, Decoration and Enjoyment”
 Related to the exhibition “The Rings from The Hashimoto Collection”

[Lectures]

*Refer to 2) Programs Related to Special Exhibitions

[Film and Talk]

Sunday 27 July, ① 13:00–14:40 ② 15:00–16:30

“Ring of the Nibelungs” by Uli Edel, 2004, DVD

Talk: Takashi Iizuka (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

*With the cooperation of Nikkatsu Corporation

Participants: 40

[Creative-Experiential Program]

Saturday 19 July, 13:00–17:00

“Rings — The Technology Hidden in their Sparkle”

Yuji Imura (Instructor, Hiko Mizuno College of Jewelry / Director, Japan
 Jewellery Designers Association)

Participants: 14

Monday 21 July, ① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00

“Let’s Make Long Rings that Contain the Secrets of Rings!”

Yuko Abe and Yuri Fujita (Educators)

Participants: 18

[Drop-in Event]

Saturday 2, Sunday 3, Saturday 9, Sunday 10, Saturday 16, Sunday 17,
 Saturday 23, Sunday 24 August, 11:00–15:00 each day

“Let’s Put Them Back Together, All Sorts of Rings!”

*Organized by the NMWA volunteer staff

Participants: 3,968

3) Family Programs

The Family Program is a free program aimed at children ages 6–9 and
 accompanying adults. Two different programs, “Bijutool” and “Doyo
 Bijutsu” (Saturday art workshop), were conducted by members of the

Education Department staff and Volunteer staff.

■ Bijutool

Bijutool is a portable educational kit for families, first-time visitors, and those unfamiliar with art to help them enjoy paintings and sculptures at the museum. Each Bijutool contains different tools, games, and activities for different artworks. It encourages children and adults to enjoy artworks together.

*We loaned Bijutool kits to visitors during this year's FUN DAY program. (see section on FUN DAY)

■ Doyo Bijutsu (Saturday art workshop)

This program consists of art appreciation in the Museum Collection Galleries and creative or experimental activities in the workshop room.

“Let's Use a Magnifying Glass to Investigate!”

After viewing Jacques Callot's densely intricate prints using a magnifying glass, the participants made prints using the drypoint method.

Saturday 19 and Saturday 26 April, Saturday 10 and Saturday 24 May

① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 114

“Here and There, Color by Color, My Very Own Treasure Chest”

After looking at three works in the Permanent Collection Galleries, participants cut up masking tape and seals, pasting together a pointillist-like design to decorate a box to hold their treasures.

Saturday 13 September, Saturday 11 and Saturday 25 October, Saturday 8 and Saturday 22 November

① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 145

4) School Programs

■ School Gallery Talk

This reservation-only program involved group tours of the Museum Collection Galleries, led primarily by volunteer staff members.

Participants:

Under age of 6: 24 (1 groups)

Primary School (ages 7 to 12): 1,354 (33 groups)

Junior High School (ages 13 to 15): 800 (29 groups)

Over the age of 16: 393 (15 groups)

Total participants: 2,571 (78 groups)

■ School Slide Talk

This reservation-only program involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Museum Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the Lecture Hall.

Participants:

Under age of 6: 0 (0 group)

Primary School (aged 7 to 12): 120 (1 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 626 (4 groups)

Over age of 16: 841 (18 groups)

Total participants: 1,587 (23 groups)

■ Museum Visits for Extracurricular Activity

These group visits involved junior high school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education staff members guided these groups, and provided information regarding a curator's job, art works, and the art museum itself.

Participants:

Junior High School (ages 13 to 15): 27 (5 groups)

Total participants: 27 (5 groups)

■ Art Card Set

The Education section loans Art Card Sets to schools for classroom use. Each set includes an instruction booklet and 65 cards with images of art works from the collections of the National Museums of Art.

Borrowers:

Elementary School: 3 (19 sets)

High School: 1 (5 sets)

Total borrowers: 4 (24 sets)

■ Teachers' Programs

This program has been designed for elementary, junior high school, and high school teachers and other educational staff members. The program includes a brief overview of the exhibition's contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition during designated hours. All lectures at Lecture Hall, free of charge

[Jacques Callot]

Saturday 18 April, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40

Asuka Nakada (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 15 (6 with lecture)

[The Rings from The Hashimoto Collection]

Friday 1 August, free entry 9:30–20:00, lecture 18:00–18:40

Takashi Iizuka (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 63 (28 with lecture)

*Conducted in cooperation with the National Science Museum's "Museum Day for Educators"

[Ferdinand Hodler]

Friday 31 October, free entry 16:00–20:00, lecture 18:00–18:40

Atsushi Shinfuji (Curator, National Museum of Western Art, Tokyo)

Participants: 38 (18 with lecture)

■ Teachers' Seminars

[Collaborative Workshop]

Organizers: Tozuken, National Museum of Modern Art, Tokyo, Museum of Contemporary Art, Tokyo (MOT) and NMWA.

Content: With the aim of strengthening cooperation between art museums and schools, this two-part program focused on art appreciation in museums and art making classes in schools.

① Cooperation between the NMWA and Komazawa Elementary School (KoES)

Wednesday 26 November and Tuesday 2 December, 13:00–15:00: Art-making Classes at KoES

Friday 5 December, 13:30–14:45: Gallery talks at NMWA

② Cooperation between the MOT and Kurihara Elementary School (KuES)

Monday 16 February 2015, 13:40–15:15: Art-making Classes at KuES.

Friday 20 February 2015, 13:30–15:00 / 15:15–16:30: Gallery Talks and a Meeting at the MOT.

5) Volunteer Activities

The volunteer staff is divided into three groups and works to support various programs at the NMWA. In fiscal 2014 the volunteer staff also began to plan and implement their own programs. The volunteer staff also studied to acquire the knowledge and skills necessary for work in the museum, and participated in meetings that brought together staff members and volunteers.

■ Activities

Group A: School Gallery Talks and Family Programs

Group B: Art Talks

Group C: Architectural Tours

All groups: "Fun Day," "Christmas Program" and programs designed by the volunteers themselves

■ Training and Meetings

Friday 17 April: Overview of the exhibition The Rings from The Hashimoto Collection

Saturday 6 December: Lecture on the Granulation Technique and Making of a Pendant Head at the Hiko Mizuno College of Jewelry

Wednesday 11 March: Visited the Tokyo Fuji Art Museum and attended a gallery talk (for group A)

Tuesday 24 March: Lecture “On Gallery Talk” (for group A)

Saturday 28 March: Lecture “On Western Art History” and Annual Meeting

6) Internships

As part of its mission to develop human resources in fields related to Western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum’s activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

[Painting / Sculpture / Drawing]

Intern: Kana Nakae

Term: 5 June–20 October

Supervisor: Yusuke Kawase

Training Program: Assisted with research on works in the Collection and with the Painting and Sculpture Section’s duties.

Intern: Kaori Harada

Term: 12 May–31 August

Supervisor: Megumi Jingaoka

Training Program: Assisted with research on works in the Collection and with the Painting and Sculpture Section’s duties.

Intern: Nobue Kurachi

Term: 13 May–16 September

Supervisor: Asuka Nakada

Training Program: Assisted with research on works in the Collection and with the Print and Drawing Section’s duties.

7) Cooperation with Other Institutions

■ Tokyo Metropolitan Ueno High School Volunteers

Saturday 27 and Sunday 28 September

Helped with the FUN DAY program.

Students: 4, Teacher: 1

Saturday 13 and Sunday 14 December

Helped with the Christmas program.

Students: 4, Teacher: 1

■ Cooperation with the Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo

Term: 1 April 2014–31 March 2015

This program sought to deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in this program and carry out mutual exchange on research and education.

8) Publications

■ Exhibition Brochures

“The Rings from The Hashimoto Collection of The National Museum of Western Art”

“Ferdinand Hodler: Towards Rhythmic Images”

“Guercino”

■ Junior Passports

Exhibition guide for primary school and junior high school students:

“The Rings from The Hashimoto Collection of The National Museum of Western Art”

“Ferdinand Hodler: Towards Rhythmic Images”

“Guercino”

■ Zephyros

NMWA Newsletter, Nos. 59–62

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, and Hisako Sugiura)

■ Staff List

Education: Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Shigehiro Maezono, Hisako Sugiura, Eiko Hiramatsu (Guest Researcher)

Volunteer Staff: Takako Akatsuka, Tomoko Arai, Marie Ando, Sachiko Ishikawa, Kiiko Isoda, Tamami Inamori, Naoko Inoue, Takashi Ohori, Shihoko Okada, Masau Okada, Shigeru Ogawa, Maki Ozao, Tamaki Sakakibara, Hiroe Sato, Koichi Sawano, Shinichi Shiota, Eiko Shirota, Yuki Suzuki, Ichiko Suzumura, Ryoko Takano, Keiko Tagami, Takenori Taniguchi, Naoko Terashima, Yasuko Nagai, Sae Nakao, Yuko Nakayama, Keiko Nakano, Hiromi Nakamura, Michiko Nishida, Noriko Hashimoto, Tamaki Hatanaka, Akemi Hamada, Kaneko Hinotani, Megumi Hiraga, Keiko Fukura, Nobuo Bunya, Hisayo Bessho, Naoya Maeda, Michiko Miyoshi, Hiroe Moriyasu, Mitsue Yamamoto, Misako Yokohata, Shoko Wada